

新型コロナによって、アーティストや文化団体は活動の中止や自粛を強いられ、非常に大きな影響を受けました。ASKは「アーティスト・ファースト」を掲げ、彼らに寄り添い、要望に耳を傾けながら、状況に応じた支援を行ってまいりました。2020年度は、寄付者のファンドから支援する「個別寄金助成」において13件・530万円、特に指定のない寄付から支援を行う「一般公募助成」において12件・500万円を助成しました。

## 個別寄金助成 寄付者が設置した個別のファンドから助成を行うもの

### 岩井コスモ証券 ASK 支援寄金助成 (7件 400万円)

国際的な活躍が期待できる関西ゆかりの35歳以下の若手アーティストら個人に対し、演奏会や展覧会の開催をはじめ、作品制作、リサーチ、機材購入など様々な芸術活動を支援。対象分野は、美術・デザイン、音楽、伝統芸能の3分野。

#### 堤 拓也 (つつみ たくや) (美術)

助成額：50万円  
場所：山中 Suplex (滋賀県大津市)  
実施期間：2020年11月6日～12月6日の土日祝

**活動概要：**滋賀と京都の県境の山中にある若手作家たちの共同アトリエ「山中 suplex」を拠点に活動するキュレーター。コロナ禍における展覧会の一つの在り方として、ドライブイン形式で鑑賞する展覧会「類比的鏡」を企画し、現代美術界で大きな反響を呼んだ。日没後の暗がりの中、屋外に入念に配置された作品をクルマに乗ったまま鑑賞する体験は、展覧会の意味やその在り方を考えさせるものとなった。  
**堤さんからの声：**助成金を受けるにあたって、とても柔軟に対応をいただき非常に助かりました。



Photo: Kai Maetani

#### 笹岡 由梨子 (ささおか ゆりこ) (美術)

助成額：80万円  
場所：Vostok (京都市上京区) など  
実施期間：2020年4月～2021年3月

**活動概要：**CGと実写の人形を融合させたコミカルでシュールな映像作品を制作し注目される。2020年度はポーランドのシチェチンにある TRAF0 で個展「地球から消える」を予定していたが、コロナで2021年10月に延期となったため、ASKの助成金で同展に向けた新作「Planaria」を制作。丸亀市猪熊弦一郎美術館のグループ展「まみえる - 千変万化な顔たち」展(2021年3月～)で先行的に展示した。  
**笹岡さんからの声：**展覧会の延期/中止で制作費が出ない中、助成金で作品の制作が可能となりました。



#### 佃 七緒 (つくだ ななお) (美術)

助成額：70万円  
場所：ギャラリー佑英 (大阪市西区)、HAPS (京都市東山区)  
実施期間：2020年10月17日～23日 (大阪)、2021年1月15日～3月23日 (京都)

**活動概要：**世界各地に滞在し、日常の道具や住環境などに意識を向けた作品づくりを行う。スペインの古民家でもらった金属片をもとに制作した小作品を様々な家で展示してもらい、その写真とともに構成した展覧会「石積みの家との18+9通信」のほか、5名の作家が手掛けた作品制作にまつわる言葉を日本語から他言語に翻訳するプロセスを展示した展覧会「翻訳するディスタンス」を企画・開催した。  
**佃さんからの声：**ASKの支援によって、すべての活動において柔軟な事業変更が可能となりました。



#### 宮坂 直樹 (みやさか なおき) (美術)

助成額：50万円  
場所：Finch Arts (京都市上京区)、京都芸術センター (京都市中京区)、hop (大阪市北区) など  
実施期間：2020年8月15日～30日 (Finch Arts)、9月25日～10月4日 (京都芸術センター)、11月1日～15日 (hop)

**活動概要：**ブリュッセル王立美術学院 (修士課程)、東京藝術大学 (Ph.D) などで学ぶ。建築家ル・コルビジェが考案した人体の身体基準「モデュロール」をもとに立体作品を制作。鑑賞者自身の身体感覚を起点として、鑑賞者が作品との空間的・物理的なかわり方を考察するような作品を手掛け、京都や大阪での展覧会で展示した。これらの展示は、国内外での新たな展覧会へのオファーにつながった。  
**宮坂さんからの声：**ASKの助成金によって複数の彫刻作品の制作費を賄うことができました。



## 野原 万里絵 (のはら まりえ) (美術)

助成額：50万円

場所：青森公立大学国際芸術センター青森（青森市）、御殿山生涯学習美術センター（枚方市）など  
実施期間：2020年9月～12月（青森）、2020年11月13日～12月6日（枚方）

**活動概要：**自ら制作する道具や型紙を用いて他者との協働作業などによって巨大な絵画を手掛ける。国際芸術センター青森に3か月間滞在し、青森の海岸で拾った石の色や質感をモチーフに、地元の方々や絵画の下地を制作したほか、一般から架空の公園のイメージを公募し、オンラインで枚方市の方々等と協力し合い会場の備品などを組み合わせて構成した展覧会「途中は案外美しい」を開催した。

**野原さんからの声：**以前 ASK の支援で滞在したインドの経験がもとになり、青森の作品が生まれました。



Photo: Yoshiro Masuda

## 堀江 恵太 (ほりえ けいた) (音楽)

助成額：50万円

場所：ザ・シンフォニーホール、吹田市メシアター、京都文化博物館、ザ・フェニックスホールなど  
実施期間：2020年8月～2021年3月

**活動概要：**大阪在住の気鋭のヴァイオリニスト。コロナが小康となった9月以降、自主企画で10回以上の演奏会を吹田メシアター等で開催。兄弟で構成する「堀江トリオ」として、ザ・シンフォニーホール公式オンライン演奏会の第1回目選ばれ生演奏を配信したほか、NHKのFM番組出演や、クラシックの魅力を伝えるネットラジオ番組を毎週土曜日に配信するなど積極的な音楽活動を展開した。

**堀江さんからの声：**多くの方にお越しいただき、このような時期こそ音楽が必要であることを感じました。



## 谷本 沙綾 (たにもと さあや) (音楽)

助成額：50万円

場所：大阪市など  
実施期間：2020年4月～2021年3月

**活動概要：**京都府在住の若手ヴァイオリニスト。2018年まで「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」に在籍し、第72回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位となる。現在、相愛大学に特別奨学生として在籍。2020年はASKの助成金で海外のマスタークラスや国際コンクールへの参加を予定していたが、コロナにより渡航ができなくなり、ヴァイオリンの弓を購入する費用の一部として活用した。

**谷本さんからの声：**新しい弓で演奏技術の向上をはかり、世界の舞台を目指し挑戦していきたいと思います。



## 八千代電設工業伝統芸能支援寄金助成（2件50万円）

能狂言における青少年への教育普及を目的とした事業を支援

### 「夏休みキッズ狂言教室・夏休みキッズ狂言会」(伝統芸能)

助成先：志芸の会

助成額：25万円

場所：神戸市立灘区民ホール（神戸市灘区）

実施期間：[狂言教室]2020年8月1日～17日（全5回） [狂言会]8月22日

**活動概要：**小学生・中学生を対象とした連続型体験教室。全5回のお稽古「夏休みキッズ狂言教室」に参加した子ども達が、志芸の会所属の善竹忠重らプロの狂言師の下で、学校では得難い礼儀作法や狂言独特のセリフ廻し・型を学び、その成果を「夏休みキッズ狂言会」として神戸市立灘区民ホールの特設能舞台の上で披露した。特に今回はコロナ禍での上演をふまえ、演者同士が接触しない曲「花争」を発表した。

**ご担当者からの声：**父兄から「子供の成長ぶりに感動した。狂言を生で観劇したい」との声を頂きました。



### 「こどもたちを対象にした能楽ワークショップ」(伝統芸能)

助成先：特定非営利活動法人和歌の浦万葉薪能の会

助成額：25万円

場所：和歌山県民文化会館小ホール（和歌山市）

実施期間：[練習]2020年8月16日、9月5日、12日、21日、27日、[発表会]10月3日

**活動概要：**和歌山の和歌の浦で毎年開催してきた「万葉薪能」はコロナで中止となったが、3歳から中学2年生子どもたちを対象にした能楽ワークショップを開催し14名が参加した。伝統芸能を「体験する」「身近に感じる」「楽しさを知る」をテーマに、プロの能楽師の指導の下で5回の練習を重ね、能舞台のステージで「熊野」「羽衣」「蟬丸」などの演目を披露した。

**ご担当者からの声：**今後も和歌の浦の歴史を踏まえ、能楽の灯を絶やさないよう努力を重ねていきます。



## 寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金助成（1件 50万円）

上方落語の若手噺家の育成を目的として毎年天満天神繁盛亭で開催される上方落語若手噺家グランプリを支援

### 「第6回上方落語若手噺家グランプリ 2020」（伝統芸能）

助成先：公益社団法人上方落語協会

助成額：50万円

場所：天満天神繁盛亭（大阪市北区）

実施期間：予選 2020年12月2日、9日、16日、23日 決勝 2021年2月19日

**活動概要：**2015年に上方落語の若手噺家の育成を目的に500万円の寄付で設けられたファンドから、毎年天満天神繁盛亭で開催される「上方落語若手噺家グランプリ」に対して50万円を支援。同グランプリはすでに関西における若手噺家の重要な登壇として定着。天満天神繁盛亭としても大人気の催しに成長した。2020年は決勝戦進出が連続6度目となる桂三四郎さんが見事グランプリに輝いた。



## 上町台地現代アート創造支援寄金（1件 20万円）

大阪の上町台地にまつわる歴史、宗教、文化などのさまざまな様相を現代アートを通して浮かび上がらせる活動を支援

### 「上町台地の厄災のリサーチ」（美術）

助成先：湯川洋康

助成額：20万円

場所：大阪市内の上町台地周辺など

実施期間：2020年4月～2021年3月

**活動概要：**厄災は、人の内面に新たな考えや精神を萌芽させ「新たな信仰と革新的な芸術表現」を生んできた。上町台地においてそうした痕跡をたどるフィールドワークを通して、「厄災を精神的に乗り越える事に寄与した信仰の芸術表現」を再考するリサーチを行った。それをもとに、当時の人々の信仰とその営みを表現する現代美術作品の制作を構想している。

**湯川さんからの声：**「厄災-信仰-美術」という想像の指示線が、見慣れた風景を一変させてくれました。



## 一花さかせろ寄金（1件 5万円）

若手アーティストによる新しい技術、自作の楽器などを利用した表現活動を支援

### 「コンサートの代替可能性の模索」（音楽）

助成先：中田粥

助成額：5万円

場所：FIGYA（大阪市此花区）

実施期間：2020年5月～2021年3月

**活動概要：**電子楽器の回路基板を数台分取り出して積み上げ、短絡して演奏するライブ活動を実験音楽シーンなどで展開。コロナの影響により演奏活動が激減したが、自身の制作活動についての映像を制作しYoutubeで公開した。またベルリンを拠点とするコレクティブ oqko と音源を共同制作。カセットとダウンロード版でリリース予定である。

**中田さんからの声：**助成金により制作に集中することができて、作品の質の向上がはかれました。



## 匿名寄金（1件5万円）

インディーズ系のバンド活動を支援

### 「吉増剛造×空間現代『背』」（音楽）

助成先：空間現代  
助成額：5万円  
場所：外（京都市左京区）  
実施期間：2020年7月17日～7月26日

**活動概要：**反復やエラーなどを音楽的な要素として取り込んだ実験性の高い楽曲を演奏するスリーピースバンド。2016年にライブハウス「外」を京都に創設し、新たな音楽シーンの創出にも取り組む。2019年に詩人吉増剛造とのコラボレーション公演により生まれたインスタレーション作品の再現を行った。ライブハウス「外」全体を展示空間とし、音・映像・詩作などあらゆる表現方法を用いて構成した。  
**空間現代さんからの声：**最大限の感染予防策をとりながら開催でき、再開への道筋を作ることができました。



Photo: Katayama Tatsuki

## 一般公募助成 使い途の指定のない寄付から助成を行うもの（12件500万円）

サポーターズクラブの会費や自動販売機からの寄付など、特に使い途の指定のない寄付から支援

### 三原 聡一郎（みはら そういちろう）（美術）

助成額：50万円 主な活動：NISSAN ART AWARD ファイナルスト展出品作品の制作など  
場所：ニッサン パビリオン（横浜市西区）  
実施期間：2020年8月1日～9月22日

**活動概要：**京都在住の現代美術作家。環境と呼応する機器を自ら作り出し、音、泡、水、火、電子、微生物、気流などの自然の物質や現象を「芸術」に読みかえ、空間に配置された作品として提示する。2020年、グローバルな活躍が期待できる日本人現代美術作家を国際的な視点から選ぶ NISSAN ART AWARD のファイナリストとなり、水にまつわる現象を作品化した作品「無主物」を展示し話題を集めた。  
**三原さんからの声：**フィジカルな体験機会が失われていく中で、オンラインの実験に手応えを感じました。



Photo: Keizo Kioku

### TOCHKA（とーちか）（美術）

助成額：80万円 主な活動：見えざるものと王子様の旅展の開催など  
場所：まなびあテラス（山形県）、ウェブサイトなど  
実施期間：

**活動概要：**京都を拠点に活動するアーティスト・デュオ。ライトを使って空中に描いた光の線の残像をアニメーション化した作品などで注目を集める。山形県東根市のまなびあテラスで「星の王子様」をテーマにAR技術によって参加者がスマホを使って作品を鑑賞する「見えざるものと王子様の旅展」を開催。またAR技術を利用し、これまでの活動を新たなアート表現へと拡張させる取り組みも行い、作品をウェブ上で公開した。  
**TOCHKAさんからの声：**今後も物理的距離を超えて楽しめる参加型のアートを模索していきたいと思えます。



### 麥生田 兵吾（むぎゅうだ ひょうご）（美術）

助成額：40万円 主な活動：写真集制作に向けた表現活動およびそれに関わる展覧会など  
場所：ホテルアンテルーム京都（京都市南区）、イチノジウユニのヨン（大阪市西成区）  
実施期間：2020年9月14日～10月18日（京都）、2021年2月13日（大阪）

**活動概要：**関西を拠点に活動する気鋭の写真家として注目される。10年以上にわたり「Artificial SJ」と自ら呼ぶ5章からなる写真理論の実践に基づいた写真シリーズを発表。2020年度は、その集大成となる写真集の出版に向けて、展覧会「踊り場と耕作」（京都）および写真集空間を映像空間へと変換して映像配信「イマニトドク」（大阪）を実施した。  
**麥生田さんからの声：**写真集の制作において、今回映像を経験したことでより広い空間感覚が得られました。



### 一般社団法人日本テレマン協会（音楽）

助成額：30万円 主な活動：高田泰治リサイタル  
場所：大阪倶楽部（大阪市中央区）、稲畑ホール（京都市左京区）  
実施期間：2020年11月22日、12月1日、2021年3月26日

**活動概要：**1963年に創設されたバロックからベートーヴェンまでを専門とする室内楽団。大阪を拠点にサロン演奏会、マンソリーコンサート、教会音楽の3つの自主公演シリーズを中心に活動。2020年度は、フォルテピアノやチェンバロの名手として知られ、ドイツを拠点に活動する高田泰治とともにクーブラン、バッハ、ソレルなどの古典音楽を取り上げる演奏会シリーズに取り組んだ。  
**ご担当者からの声：**観客数を半分に絞る中、助成金は会場費や出演料など有効に活用させていただきました。



## 公益財団法人大阪市音楽団（音楽）

助成額：30万円 主な活動：第133回定期演奏会  
場所：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区）  
実施期間：2020年11月26日

**活動概要：**1923年に誕生した100年近い伝統を誇る交響吹奏楽団。Shionの愛称で親しまれる。ASKの助成金を第133回定期演奏会で活用。世界初演となるスパークの「スリー・ダンス・ミニチュアズ」、米国の吹奏楽作曲家ジェイガーの「交響曲第1番」リードの「交響曲第3番」などの吹奏楽の名曲を秋山和慶の指揮で演奏。座席数を50%に絞って販売したチケットは当日券を含め完売となった。  
**ご担当者からの声：**2023年の創立100周年に向け、積極的な取り組みを展開していきたいと思っております。



## 音遊びの会（おとあそびのかい）（音楽）

助成額：30万円 主な活動：三田村管打団？と音遊びの会  
場所：神戸アートビレッジセンター（神戸市）  
実施期間：2020年11月23日

**活動概要：**知的障害のある人と即興演奏を得意とする演奏家が共に舞台を作る場として、2005年に結成。障害者と演奏者が月2回のワークショップを重ね、年数回の演奏会を行う。2020年度は過去にも共演歴があり即興性の高いパフォーマンスを行うブラスバンド「三田村管打団？」と、感染対策の上でライブ（合わせてオンライン配信）を実施。コロナ禍の中、音楽の力を示すパフォーマンスとなった。  
**ご担当者からの声：**「音の原色が豊かでパワフル。即興でうまれる音楽は可能性無限大です」（来場者の声より）



## 橋本 彩音（はしもと あやね）（音楽）

助成額：20万円 主な活動：子どものためのコンサート「フルート！フルート！フルート」  
場所：シーサイドホテル舞子ピラ神戸あじさいホール（神戸市）  
実施期間：2020年10月3日

**活動概要：**神戸大の学生サークル・アートマネジメント研究会が、子どもたちに本格的なクラシック音楽を届ける取り組みとして企画開催するコンサートで、13回目を迎える。関西を拠点に活動するフルートのみで構成されたシンクソフルートアンサンブルを招き、会場の子どものために楽器や曲に関するクイズを織り交ぜながら、高水準のクラシックの演奏を楽しめる雰囲気の中で聞かせる取り組みとなった。  
**橋本さんからの声：**助成金でプロの演奏家を招いた演奏会を、入場無料とすることができました。



## 林 慎一郎（はやし しんいちろう）（舞台芸術）

助成額：50万円 主な活動：極東退屈道場「LG21 クロニクル」（仮）のウェブ展開  
場所：オンライン  
実施期間：2021年1月21～3月31日

**活動概要：**劇団極東退屈道場の取り組みとして実施。当初、大阪市内の複合文化施設においてガイドの誘導で施設内外を歩き回りながら観劇する回遊型演劇公演を予定していたが、コロナの影響によりウェブ上で展開するリサーチプロジェクトとして実施。作品の舞台となる大阪を模した架空都市「オオサカ」を見下ろす高層住宅の「囁き声」を、実際の高層マンションのデータや特徴とともに地図上にマッピングした。  
**林さんからの声：**助成金でウェブ技術の講習を受講。今後の創作活動に活かしていきたいと思っております。



## 一般社団法人 KIO（舞台芸術）

助成額：50万円 主な活動：ミュージカル「地下鉄1号線」  
場所：天王寺公園（大阪市天王寺区）  
実施期間：2021年3月20日、21日

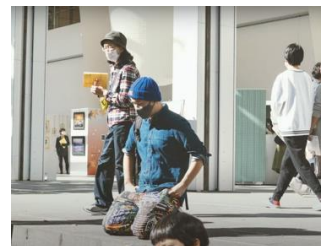
**活動概要：**世界中で上演されてきたミュージカル「地下鉄1号線」を、大阪の下町を舞台に翻案し直し、天王寺公園の屋外で上演。17名の役者が天王寺を舞台に繰り広げられるさまざまな人間模様を演じた。台詞や曲はヘッドホンから流れる仕組みで、観客は街の中を歩きながら雑踏の中で演じる俳優たちの演技や歌を鑑賞した。コロナ禍における演劇の一つのあり方の提起ともなった。  
**ご担当者さんからの声：**街に溶け込んで物語を追うのがワクワクした、など多くの好評をいただきました。



## 武田 力（たけだ りき）（舞台芸術）

助成額：30万円 主な活動：大分における「踊り念仏」  
場所：大分県立美術館を中心とするエリア  
実施期間：2020年10月25日

街の許容度を、自身の身体を用いて改めて計り、街との自律的な関係性を取り戻す作品である  
**活動概要：**演出家、俳優、民俗芸能アーカイバーなど多彩な活動を行う。2015年に大阪で制作した野外演劇「踊り念仏」を大分県立美術館開館5周年記念のイベントにて上演。「表現の自由」と「公共の福祉」は街の中でどう折り合いをつけていくのかをテーマに、ワークショップを開催。街の「異物」を演じた。無意識が形成する街の許容度を、身体を用いて測り、街との自律的な関係性を取り戻す試みとなった。  
**武田さんからの声：**コロナによって刻々と変化する状況に対処しながらも、上演ができました。



---

## 林本 大 (はやしもと だい) (伝統芸能)

助成額：50万円 主な活動：能 meets など  
場所：北浜 ROND (大阪市北区)、杉江能楽堂 (岸和田市)  
実施期間：2020年5月～2021年3月

**活動概要：**大学で能の魅力に触れ世襲ではなく一般家庭から能楽師となる。能楽の普及活動に精力的に取り組む、能楽の入門講座「能 meets」を月1回のペースで実施。北浜と杉江能楽堂などの会場を使って、能装束や小道具をはじめ、舞や殺陣、演目の解説などを行った。コロナ禍にもかかわらず、半年間でのべ600人以上が参加し、能の魅力に多くの人々が触れることとなった。

**林さんからの声：**助成金のおかげで、多くの赤字を抱えずに支払いができて助かりました。



---

## 菊央 雄司 (きくおう ゆうじ) (伝統芸能)

助成額：40万円 主な活動：平家物語の世界4「武士(もののふ)の美学—義仲と義経」  
場所：紀尾井ホール (東京都千代田区)  
実施期間：2020年9月11日

**活動概要：**大阪を拠点に地歌箏曲の演奏家として活躍。確かな技量と表現力で注目される。最近「平家語り研究会」の取り組みとして現在ほぼ失われつつある平家琵琶の復曲活動を行っている。2020年は、2019年に研究会で復曲した大阪が舞台となる琵琶曲「逆櫓」を、東京の紀尾井ホールで「平家物語の世界4 武士(もののふ)の美学—義仲と義経」と題した演奏会で上演した。

**菊央さんからの声：**お陰さまで中世の日本音楽・平家琵琶の復曲の機会を得ることが出来ました。

